

なが た
永田 ゆづる 県政ニュース
vol.06 令和6年(2024)11月
発行 奈良県議会議員 永田ゆづる

Nara Prefectural Administration News

プロフィール

- 早稲田大学 商学部 卒業
- 元NHK報道記者 奈良・仙台・東京社会部(皇室・警視庁担当)

その他の活動(所属)

県監査委員/総務警察委員会/観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会
議会改革推進会議/リニア中央新幹線建設促進議連/京奈和自動車道建設促進議連
がん対策推進議連/殺処分ゼロをめざす議連/森林・林業・林産業活性化促進議連

永田の説明書



ご挨拶

奈良県議会の9月議会は、産学官の連携支援や防災体制整備に関わる事業など、総額で約28億円の補正予算案が可決されて10月23日に閉会しました。私も予算委員会など計3つの委員会で質問しました。

この9月議会は税金の使い道について議論をする非常に重要な機会となりました。例えば、奈良市の業者が違法盛り土を行った結果、その土地が一部崩落し、業者の代わりに県が補強工事を行った事案について質問しました。工事は平成31年春に終わり、この代金である1億3500万円余りを県が支払っていましたが、債権を業者から回収できないまま、ことし8月下旬に時効を迎えました。業者の違法行為を県民の税金で肩代わりせざるを得なくなったことについて、私自身、やるせない思いを感じていて再発防止を求めました。9月議会では、この事案含めて合計10のテーマについて質問や要望を行いました。今後とも、課題解決のため「若い力ですぐ実行・行動」していきますので、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

予算委員会

“違法盛り土の是正工事”
1億3500万円余を
税金で補填

委員会質問の録画▶



質問

平成30年3月、奈良市の業者が生駒市の住宅街のそばで無許可盛り土を行い、その後、台風の影響で一部が崩落した。奈良県は業者に代わって復旧工事をする“行政代執行”を行い、1億3555万円の工事代金を徴収する予定だったが、業者と連絡が取れない状態が続き、ことし8月下旬に時効を迎えた。税金の使い道や公平性に関わる重大な問題だ。どのように再発防止を進めていくのか。

県の答弁

多額の債権が時効を迎えたことは誠に遺憾だ。県が業者の代わりに工事を行う“行政代執行”に至らないよう、無許可盛り土などの違反行為を早期に発見して是正指導していくことが重要だと改めて認識した。衛生画像による分析など、新たな技術を活用しながら違反行為が発生しないよう監視体制を強化していくほか、現場担当の土木事務所とも連携していきたい。

意見

違法盛り土の発生初期に対応が遅れたことにより、債権回収できなくなった点は見落としはならない。県の担当職員も異動などで毎年入れ替わる中、この事案を過去の出来事として捉えるのではなく、部全体で共有し続けて初動体制の充実に向けて取り組んで欲しい。

10月2日:知事質疑

大相撲・奈良県知事賞の
廃止について

委員会質問の録画▶



質問・要望

奈良県は相撲発祥の地としてPRを続けてきた。平成27年より大相撲・大阪場所など年に3回、1回あたり75万円の予算で奈良県知事賞を出し、副賞としては大和野菜を使ったちゃんこ鍋セット等を用意してきた。“日本書紀”にも相撲の天覧試合が奈良県で初めて行われたという記述があり、大相撲・奈良県知事賞は全国の相撲ファンなどに奈良県と相撲の深いつながりをPRできる機会となってきたが、知事就任後の令和5年7月に廃止された。

知事はこの事業効果について担当課から直接説明を受け、大相撲・奈良県知事賞を復活させることも含めて検討してほしい。去年は、予算執行査定等で中断した事業も多いと思うが、必要な事業は復活するという冷静な決断をお願いしたい。

広域防災拠点整備に関わる附帯決議案を提出・可決

ことし3月、県の総合防災体制について有識者に検討してもらうための修正予算案が可決されました。大学教授など防災の専門家が集まって意見交換した内容を踏まえ、**奈良県はことし8月、五條市と橿原市に2つの核となる防災拠点を整備する案を示しました。**当初、五條市の防災拠点の予定地のうち25haもの広大な敷地にメガソーラーを整備すると知事が発表した案と比べて、**防災拠点の規模や機能が充実していたり、県民の生命と財産を守るための裏付けが示されていたりするものだと理解しました。**

奈良県はこの整備案を念頭に、防災拠点の整備計画を作るための修正予算案として2450万円を計上しました。会派としても1ヶ月前より議論を始め、検討を重ねた結果、修正予算案に賛成するにあたっては以下の3つの条件をつけた**“附帯決議案”**を本会議に提出し、**全会一致で可決されました。**

附帯決議“3つの条件”

1. 基本構想や基本計画の策定にあたり、県議会の意見を踏まえ、総務省との協議にあたること。
2. 災害時における人命救助への体制を最優先とし、県議会と地元の意見、それに緊急防災・減災事業債の趣旨を踏まえ、当拠点の太陽光発電施設整備の是非について判断すること。
3. 当拠点の防災機能を最大限に発揮するためにも、拠点への道路アクセス等を充実させ、消防学校の一体整備を検討するなど機能強化に資する環境整備を進めること。

五條市防災拠点 整備案



観光・地域交通特別委員会

県ヘリポートの非常用電源設備不具合について



委員会質問の録画

質問

奈良県ヘリポートは奈良市の東部にある県内唯一の常設の航空拠点で、大規模災害発生時には多くのヘリコプターの活動を支える場所となる。停電時でも滞りなく運用される必要があるが、**去年12月より給油用の非常用電源設備に不具合がある状態が続いている。**停電時に給油を担う重要な設備であるので、早期更新に加え、納入までの間、リース契約により代替機を早期設置するという応急対応をとるべきだったと考えるが、どうか。

県の答弁

代替機を設置するためリース契約に向けた調整を行ってきたが、もう少し早める余地もあったと認識している。**非常用電源設備の更新とリース契約に向けて速やかに準備を進めていきたい。**



出典：奈良県ホームページより

意見

最近でも、南海トラフの臨時情報が出されるなど、いよいよ大地震が起こるのではないかと緊迫した場面もあった。**停電時に給油ができない可能性があることは防災上も大きなリスクであり、防災部局などとの連携を進めて欲しい。**

予算委員会

“クビアカツヤカミキリ”被害の拡大防止について

要望

桜などを枯死させる外来種の昆虫、“クビアカツヤカミキリ”による被害が県内27市町村に広がっている。「高田千本桜」で知られる大和高田市の桜並木でも約150本で食い荒らされた痕跡があり、倒木の危険性がある樹木も少なくない。**奈良市では、観光資源でもある佐保川沿いの桜や月ヶ瀬の梅林などに被害を広げないことが重要だ。**生態系のみならず、観光・県内消費にも関わる重要な課題であり、被害の早期発見が必要だ。現在、県は樹木医を市町村に派遣し、担当者にその被害発見のノウハウを伝えているが、被害の拡大には追いついていないと言える。派遣回数を増やすための予算措置をするとともに、被害発見の方法を統一するなどして、効果的な対策を進めて欲しい。



出典：奈良県ホームページより



委員会質問の録画

侵食の痕跡

ご要望・相談は
コチラから↓



LINE

少人数での座談会・県政報告も行っていますのでお気軽にお声がけください。

奈良県議会議員 永田ゆづる 奈良市登大路町30(県議会控室)

TEL:050-3696-1053 / FAX:0742-90-1108

Mail: info@yuzurunagata.jp (永田 ゆづる 公式サイト) https://yuzurunagata.jp/



旧 Twitter

